医師会病院看護部 部署紹介

回復期リハビリテーション病棟



看護補助者: 8名 (うち非常勤職員:1名)

平均年齡: 39.08歳 〈平成30年9月22日 現在〉

病棟特徵 病床数: 50名 看護配置: 13対1

回復期リハビリテーション病棟入院料 [(平成30年8月~)

平成 29 年度 リハビリ病棟実績

入院患者数: 243名 (うち、医師会病院急性期病床からの入院は23.9%)

重症患者割合: 32.5%

病床稼働率: 82.2% 在宅復帰率: 83.1%

◎ リハビリ実績指数: 40.2

※平成29年10月~平成30年3月までの、6か月集計結果

平成 30 年度 リハビリ病棟 部署目標

〈看護師〉 患者背景を把握し、再発予防を考慮した退院支援ができる

〈看護補助者〉 安全な入院環境が提供できる





昨年度の看護研究で、「患者背景から考えた脳卒中の再発予防」という テーマに取り組み、<mark>患者さん・ご家族へ指導をすることの重要性を再認識できました。</mark>今年度はこれまで以上に退院支援に取り組んでいきます!!

看護師長インタビュー

リハビリ病棟看護師長

村橋

久美

回復期リハビリ病棟は、2004年5月に開設され、山口県東部地域医療の重要な役割を担ってきました。岩国医療圏の病床機能の変化に伴い、受け入れる患者さんの科別が変化し、平成30年現在、約7割の患者さんが 脳血管疾患後のリハビリ目的 で療養される患者さんで占められています。医師や療法士など他職種と連携を図りながら、入院早期から患者さん個々に介入し、自宅への退院を見据え、排泄の援助や更衣動作などの日常生活動作や、内服の管理方法指導など行っています。

私達は「朝起きて寝るまで、すべての動作がリハビ リ」という考えのもと、患者さんに接しています。 当病棟は院内で唯一、病棟内に食堂があります。

寝る場所と食事の場所を分けるため、患者さんには毎食食堂に移動して頂いてから、食事を摂っていただいています。また、起床後は寝衣から普段着に着替え、就寝前に寝衣へ着替えるという日常的に行う動作を、リハビリの一環として行っています。患者さんの衣服が色とりどりで、「病棟全体が明るい印象を受ける」と言われています(#^ω^#)



患者さんの身体機能を向上させるために、患者さんが一人でできる動作については、時間がかかっても一人でやって頂くようにしています。回復期にある患者さんの日常生活動作は不安定で、病態に合わせた環境整備や、適切な援助を行わなければ、転倒など事故が起こりやすい時期だと言えます。私達リハビリ病棟の医療スタッフは、患者さんが安全に入院生活を過ごし効率的な回復ができるよう、危険を予知する感覚を磨くトレーニングも行っています。



当病院の回復期リハビリ病棟は、全国回復期 リハビリ病棟協会に所属しています。他職種と 共同で行われる研修会にも積極的に参加して個 々で自己研鑚を図ると共に、病棟全体の知識・ 技術の向上のために、伝達講習を行っています。

来年度には一名、回復期リハビリテーション 看護師認定コースが終了予定です! 患者さんの 状況に応じた適切な医療・看護が提供できるよ う、チームー丸となってこれからも頑張ります!

リハビリ病棟の看護師さんへ ~突撃インタビュー!!その1

「お休みの日は何をしていますか?」

*錦帯橋まで チャリンコ こいで行ってます。筋トレ! *ヨーグルトメーカー で 自家製ヨーグルト 作ります *おかずの作り置きとか しますねぇ...。

※掃除とか…。洗濯とか、あと…掃除とか…掃除とか…(´・ω・`)?



リハビリ病棟の看護師さんへ ~突撃インタビュー!!その2

「同じ部署の仲間へ、メッセージを!!」

*いっつも優しく、丁寧に教えて頂いて、助けてくれて、ありがとうございます! *みんな話しやすいし、チームワーク抜群だって思っています $('\omega')$ ノ

*みんな大好きですよっ! ('◇')ゞ